

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン



2013-2014年度 会長 鶩塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 ☎451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2014 January 22

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”

Return to basics Advance with intelligence

NO.26

例会報告

●第2022回例会 平成26年1月22日(水) 晴

●1月はロータリー理解推進月間

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 105 (93) 名中 出席65名

出席率69.89% 修正出席率91.09%
(1月8日分)

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

阿竹研究所 所長 阿竹克人氏

●ニコボックス

「阿竹さん、本日の卓話、まことにありがとうございます。」 服部 滋幹事、中浜明光君
「安井隆豊さんの紹介で本日入会しました。千住憲夫です。今後ともよろしくお願いします。」 千住憲夫君

本日のニコボックス	2件	6,000円
累	計	1,489,000円

服部 滋幹事報告

△当クラブ行事予定

- ・ 1月29日(水) 例会終了後、理事会を行います。
- ・ 2月19日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリー、アッセンブリー終了後、理事会を行います。
- ・ 2月26日(水) 東名古屋分区IM全員登録。
受付開始 15時
開会・式典 16時
懇親会 18時30分~20時
名古屋錦RCさんホスト、場所は
ウェスティンナゴヤキャッスルです。
通常例会(12時30分~13時30分)
はございません。

※行事予定では、5月28日(水)が春の家族会になつておりますが、5月21日(水)を変更し、5月17日(土)に家族会を開催致します。5月28日(水)は通常例会になります。

鶩塚貞長会長挨拶

“カロリーベース”

「食料の自給率がまたぞろ40%を下回った」、明日にでも食糧危機が来るような論調の記事が目立ちます。

我が国の食料自給率の積算根拠となる、“カロリーベース”とは何でしょう。先ずはそのような計算方法を取っている先進国は日本だけで、他国はすべて重量もしくは価格ベースでの計算です。

日本も1983年までは、生産額(価格)ベースの計算でした。生産額のベースの計算では、現在の日本の食糧自給率は、40%もの米の減反を行ってもなお、概ね68%を維持しています。

カロリーベースとは国内で生産される農産物を、人間が食した時のカロリーでの計算ですので、野菜などのカロリーの低い農産物では、大量に生産してもきわめて少ない数字にしかなりません。

それでは、カロリーの高い牛肉、豚肉、卵などの畜産物はどうでしょうか。日本の家畜や家禽の餌は、国産可能なのに、そのほとんどを輸入に依存しています。

なんとカロリーベースの計算では、輸入飼料で育てた畜産物の全ては、計算にカウントされません。

また、食べ残しの廃棄食料は概ね20%ですが、これは消費したとカウントされます。捨ててしまった食料が、カロリーに計算されるのです。

カロリーベースでの計算は、食料の自給率を低く見せかける為の、作為的な計算方法なのです。

米を40%も減反しながら、大量の米を輸入しているのも、おかしな話です。

衆議院農林水産委員会で野党議員が質問しました。「政府は、国内で40%もの米の減反をし、農民に税金で巨額の保証金を支払いながら、大量の米を輸入している、その根拠は何ですか」「ウルグアイラウンドでのミニマムアクセスです」「ほー、その協定書には、米の輸入は“義務”として明記されている

のですか」「……」、委員会室は騒然となり、最終的な答弁では、「輸入していただければありがたい程度の表現です」「日本以外にも、米の“輸入お願い”をされた国は有りますか」「韓国です」「韓国はお願いを聞き入れ、米を輸入していますか」「していません」。

なぜ、突然計算方式をカロリーベースに変えたのでしょうか。

減反し、働くかなくても保障する農民票集め、輸入業務で作り出す不要な出先機関、輸入業者の権益など、血税の浪費以外の何物でもありません。

計算方法の変更で、作為的に低く見せかける食糧自給率、国産できるのに大量の穀物輸入、協定書ではお願いを義務とすり替える、世界で10億人が飢餓苦しみ、毎年5000万人を超える餓死者が出ているのに、20%もの食料を食べ残し廃棄、そして過食による糖尿病患者の経年的増加。

今日本では2000万人を超える糖尿病患者が存在し、その2~3倍の予備軍が推定されています。そして、その三分の一ほどが近い将来に透析患者になります。透析患者は特定疾病療養患者と認定され、月40万円ほどかかる医療費は全ては公費です。

卓話

太陽熱利用の飛行船について

阿竹研究所 所長 阿竹克人



1. 自己紹介

講演者は名古屋市内で建築事務所を営む建築家で、複数の大学の非常勤講師を勤める傍らいくつかの発明とその実用化に取り組んでいる。

代表的な発明は、「あたけぼね」として商品化した展開構造で、防衛省の災害用テントなどにも正式採用された他、展開

ボートなどの防災用品の実用化が待たれている。実演。

2. バックミンスター・フラーについて

立体幾何の現代建築への応用の原点は、アメリカのリチャード・バックミンスター・フラー（1895-1983）という構造家、発明家である。

彼は流線型の車の提唱者でもあり、最小の資源から最大の効果を得るというダイマクション思想の元にフードドームのほか今日のユニットバスの原型などの発明をしている。

フラーの少年時代は飛行船の発展期と重なる。ツェッペリンの発明になる硬式飛行船は飛行機に信頼性がない時代に大量高速旅客物流手段として実用化された。フラーは効率的な構造のヒントなど多くの着想を飛行船から得ている。

金属ドームも巨大化すれば内部の空気の重さが構造体の千倍にもなり、太陽に照らされて数度温度上

昇するだけで空中に浮かぶと説いた。

3. 太陽熱飛行船

演者はこの構想にヒントを得て、金属球ではなく、透過膜と選択吸収膜、断熱層からなる空気膜構造の太陽熱バルーンを特許出願し2005年の愛地球博に二十万分の一の地球を再現するバルーンアースプロジェクトを提案し、新聞紙上を賑わしたが予算が出ず、実現できなかった。

太陽電池で電力に変換されないエネルギーはすべて熱になるため熱を浮上用に電力を駆動力とする太陽熱飛行船が考えられる。

飛行船は巨大化すればするほど効率がよくなる。高騰するヘリウムに頼っているかぎり巨大化には限界があるが、太陽熱と水蒸気、空気膜構造の組み合わせでいくらでも巨大化が可能になる。長さが4km直径1kmくらいのサイズを考えれば成層圏まで上がって尚20万トン程度の浮力が見込める。太陽電池を全面に貼れば30万キロワット程度の出力が得られ、地上よりはるかに効率よく機能する。また通信衛星よりレスポンスのよい電波ネットワークを構築できる。成層圏に空港を作ることが出来れば航空宇宙のインフラを一変させる。その1/10程度（体積1/1000）のスケールでも水蒸気の形で大量の水を砂漠地帯に運び、帰りに中東から液化せずに天然ガスを日本に運ぶエアタンカーが考えられる。未来を開く技術として国家プロジェクトを立ち上げるべきである。

新入会員紹介（2014.1.22入会）

せんじゅう のりお

●千住 憲夫君（S23.5.3生）

- 事業所
(株)サンヨーハウジング名古屋
常勤監査役
- 〒467-0842
瑞穂区妙音通3-31-1
TEL <052> 859-0034
FAX <052> 859-0035
- 職業分類 住宅分譲
- 所属委員会 親睦活動委員会
- 紹介者 安井隆豊君、天野清美君



例会	月日	今後の予定
第2023回	1.29	日本表情筋トレーニング協会 代表 水野愛子氏 「表情筋トレーニングの魅力」
第2024回	2.5	会員 中川信治新世代・ ローター・アクト委員長 「ローター・アクトを育てる」
第2025回	2.12	会員 横野智之君 「シングルになるための上達のヒント」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。